

青菜

あくび指南

明烏

愛宕山

あたま山

穴どろ

鮑のし

按摩の炬燵

言訳座頭

居酒屋

石返し

一眼国

市助酒

井戸の茶碗

居残り佐平次

位牌屋

今戸の狐

芋俵

浮世床

浮世根問

牛の丸薬

牛ほめ

嘘つき村

うどん屋

鰻の幫間

鰻屋

馬のす

厩火事

王子の狐

王子の幫間

大山詣り

お血脈

啞の釣

おせつ徳三郎

お茶汲み

お直し

お化け長屋

お神酒徳利

お見立て

親子酒

親子茶屋

お若伊之助

落語手帖

矢野誠一

書名—落語手帖

やのせいいち
著者—矢野誠一 ©1988

1935年東京に生れる。麻布学園、文化学院に学ぶ。演藝評論、演劇の批評などを書いている。著書、『志ん生のいる風景』（青蛙房、文春文庫）、『さらば、いとしき藝人たち』（文藝春秋）、『フルイコの酒場』（大陸書房）、『女興行師吉本せい』（中央公論）、『古典落語』（駸々堂）、『落語・語り口の個性』（三一書房）、『落語・長屋の四季』（読売新聞社）、『芸能歳時記』（三一書房）ほか。

装幀—上田晃郷

定価—980円

発行者—大渕馨

印刷・製本—日本写真印刷株式会社

発行所—駸々堂出版株式会社

東京都文京区春日1-9-27

電話03-814-6739

大阪市東区唐物町4-55

電話06-253-0391

ISBN4-397-50265-X C0276

落語手帖

矢野誠一

凡例

- 今日落語として口演されている演目のうち、比較的口演される機会の多いもの二七四作品を選んだ。選考にあたっての特別な基準はなく、したがって記載されなかった演目にも口演頻度の高いものが少なくない。それ等の演目を補う意味で、巻末に索引をかねた「落語の演目」をおさめた。
- 配列は五十音順とし、表題は一番馴染みのふかい通称を首題に記し、別題のあるものは小字で記した。東京と上方とで別題のものも、馴染みのふかいほうを首題としたが、東京で口演されていても上方色濃厚のものは上方のものを首題とした。
- 落語は、演者の語り口を娛しむ藝だが、その物語性を無視することもできないので、便宜上〔梗概〕を記した。あくまでも、ひとつの規準にすぎない。
- 〔鑑賞〕及び〔藝談〕〔能書〕の出典は省略した。できるだけ原文を尊重しているが、多少アレンジした部分もある。
- 年号表記は原則として西洋暦を用いた。括弧内の日本年号の「昭和」は省略した。
- 藝名は原則として旧字体を用いた。藝名の上に表記した洋数字は代数をしめすが、異説あるものは通説に準じた。物語者でも、現在その名跡が伝承されていない場合は省略した。

目次

凡例	3
----	---

へあ

青菜	16
あくび指南 〓 あくびの稽古	17
明烏	18
愛宕山	19
あたま山 〓 あたま山の花見・桜ん坊	20
穴どろ	21
鮑のし 〓 祝いのし	22
按摩の炬燵	23
へい	24
言訳座頭	24
居酒屋 〓 ずっこけ	25

石返し 〓 鍋屋敷	26
-----------	----

一眼国	27
-----	----

市助酒 〓 下役酒	28
-----------	----

井戸の茶碗 〓 茶碗屋敷	29
--------------	----

居残り佐平次 〓 居残り・おこわ	30
------------------	----

位牌屋	31
-----	----

今戸の狐	32
------	----

芋俵 〓 芋どろ・人俵	33
-------------	----

へう

浮世床	34
-----	----

浮世根問 〓 無学者・無学者論	35
-----------------	----

牛の丸薬 〓 牛の丸子	36
-------------	----

牛ほめ 〓 池田の牛ほめ	37
--------------	----

嘘つき村 〓 鉄砲勇助	38
-------------	----

うどん屋 〓 風うどん	39
-------------	----

鰻の幫間	40
------	----

鰻屋 〓 素人鰻	41
----------	----

馬のす 42

厩火事 43

へお

王子の狐 〓 高倉狐 44

王子の幫間 45

大山詣り 〓 百人坊主 46

お血脈 〓 善光寺骨寄せ 47

啞の釣 48

おせつ徳三郎 〓 おせつ・花見小僧・刀屋 49

お茶汲み 〓 涙の茶・女郎の茶 50

お直し 51

お化長屋 〓 借家怪談・化物長屋 52

お神酒徳利 〓 占い八百屋 53

お見立て 〓 墓違ひ 54

親子酒 55

親子茶屋 〓 夜桜 56

お若伊之助 〓 因果塚 57

へか

火焰太鼓 58

景清 〓 入れ眼の景清・めくら景清 59

掛取万歳 〓 掛取り・掛万・浮かれの掛取り 60

笠碁 61

鰍沢 〓 鰍沢雪の酒宴・鰍沢雪の夜嘶 62

火事息子 63

風の神送り 〓 風の神 64

片棒 〓 あかにし屋 65

かつぎや 〓 正月丁稚 66

かぼちや屋 〓 唐茄子屋・みかん屋 67

釜どろ 〓 釜盗人 68

墓の油 69

紙入れ 〓 紙入れ間男 70

紙屑屋 〓 浮かれの屑撰り・天下 71

蛙茶番 〓 舞台番・素人芝居 72

代り目 73

かんしゃく	74
看板のピン	75
巖流島 〓 岸柳島・桑名舟	76
へき	
祇園会 〓 京見物・上方見物・およく	77
菊江の仏壇 〓 白ざつま	78
紀州 〓 槌の音	79
九州吹きもどし	80
御慶 〓 八五郎年始・富八・千両富	81
近日息子	82
禁酒番屋	83
金玉医者 〓 皺め・顔の医者・頓智の医者・藪医者	84
黄金の大黒	85
金明竹	86
へく	
口入屋 〓 引越しの夢	87
首提灯	88

首ったけ	89
首屋 〓 首売り	90
熊の皮 〓 八百屋	91
汲みたて	92
蜘蛛駕籠 〓 住吉駕籠	93
蔵前駕籠	94
欽潟	95
へけ	
源平盛衰記 〓 源平	96
へこ	
孝行糖	97
強情灸 〓 やいと丁稚	98
鴻池の犬 〓 大どこの犬	99
甲府い 〓 法華豆腐・出世豆腐	100
黄金餅	101
小言幸兵衛 〓 搦屋幸兵衛・道行幸兵衛・借家借り	102
小言念仏 〓 世帯念仏	103

後生鰻	放生会・淀川	104
胡椒の悔み	悔み	105
碁どろ	碁盗人	106
五人廻し	小夜千鳥	107
瘤弁慶	大津宿瘤弁慶	108
子ほめ		109
子別れ	強飯の女郎買・子は鏝	110
権助提灯		111
蒟蒻問答	餅屋問答	112
権兵衛狸	とんとん権兵衛	113
へさ		
西行		114
盃の殿様	月の盃	115
ざこ八	先の仏・二度の御馳走	116
佐々木政談	佐々木裁き・佐々木高綱・池田大助	117
真田小僧	六文銭	118
皿屋敷		119

三軒長屋	楠運平	120
山号寺号		121
三十石	三十石夢の通路・三十石宝の入船	122
三人旅	朝ばい・神奈川宿・鶴屋善兵衛・おしくら・	
尼買い	伊勢詣り	123
三人無筆	帳場無筆・無筆の帳つけ・向うづけ	124
三年目	茶漬幽霊	125
三方一両損	一両損	126
三枚起請		127
へし		
鹿政談		128
地獄八景亡者の戯れ	地獄八景・地獄巡り	129
しじみ売り	汐留のしじみ売り	130
紫檀楼古喜	古喜・狂歌羅宇屋	131
質屋庫		132
十徳		133
品川心中		134

死神 〓 昔れの幫間 135

死ぬなら今 136

芝浜 〓 芝浜の皮財布 137

罇瓶 〓 花瓶 138

締め込み 〓 盗人の仲裁 139

写真の仇討 〓 指切り・一枚起請 140

三味線栗毛 〓 錦木 141

洒落小町 〓 口合小町 142

寿限無 143

尻餅 144

素人鰻 〓 士族の商法 145

しわいや 146

心眼 147

真景累ヶ淵 148

へす 149

酢豆腐 〓 あくぬけ・ちりとてちん・石鹼 150

崇徳院 〓 皿屋・花見扇 150

へせ

疝氣の虫 151

千両みかん 152

へそ

粗忽長屋 153

粗忽の釘 〓 我忘れ・宿がえ・粗忽の引越 154

粗忽の使者 〓 尻ひねり・治部右衛門 155

そば清 〓 そばの羽織・蛇含草 156

ぞろぞろ 157

へた

大工調べ 〓 大工裁き 158

幫間腹 159

代書屋 160

大仏餅 161

代脈 162

高砂や 163

高田馬場 〓 仇討屋 164

たがや	165
だくだく 書割盗人	166
竹の水仙 甚五郎	167
立切り 立切れ線香	168
狸賽 狸	169
苺の火	170
試し酒	171
垂乳根 垂乳女・延陽伯	172
團子兵衛	173
短命 長命	174
へち	
ちきり伊勢屋 白井左近	175
千早振る 百人一首・無学者・竜田川	176
茶の湯	177
長短 気の長短	178
へつ	
付き馬 早桶屋・付き馬の付き馬	179

突き落し	180
搗屋無間 搗屋問答・無間の白	181
佃祭	182
壺算 壺算用	183
つるつる 粗忽の幫間	184
へて	
鉄拐	185
てれすこ すてれんきよう	186
天災	187
転失気	188
転宅 義太夫語り	189
天王寺詣り 犬の引導鐘	190
へと	
道灌	191
道具屋	192
胴取り	193
唐茄子屋 唐茄子屋政談	194

胴乱の幸助……………195

時そばⅡ時うどん……………196

土橋萬歳……………197

富久……………198

〈な〉

長崎の赤飯Ⅱ上方芝居……………199

中村仲蔵Ⅱ蛇の目傘……………200

長屋の花見Ⅱ貧乏花見……………201

泣き塩Ⅱ焼き塩……………202

夏どろⅡ打飼盗人・置泥……………203

夏の医者……………204

なめるⅡ重ね菊・菊重ね……………205

業平文治Ⅱ業平文治漂流奇談……………206

〈に〉

二階ぞめき……………207

錦の袈裟Ⅱちん輪・金欄の袈裟・袈裟茶屋……………208

二十四孝……………209

二人旅Ⅱ煮売屋……………210

二番煎じ……………211

にらみ返し……………212

人形買い……………213

〈ぬ〉

抜け雀……………214

〈ね〉

猫久Ⅱ猫の久六……………215

猫の災難Ⅱ猫災・犬の災難……………216

猫の皿Ⅱ猫の茶碗……………217

ねずみⅡ甚五郎……………218

寝床Ⅱ素人浄瑠璃・素人義太夫・寝床浄瑠璃……………219

〈の〉

野ざらしⅡ手向けの酒・骨釣り……………220

のめるⅡ二人癖……………221

〈は〉

化物使いⅡ化物屋敷……………222

初天神 223

初音の鼓Ⅱほんこん 224

はてなの茶碗Ⅱ茶金 225

花色木綿Ⅱ出来心 226

鼻ほしい 227

花見酒 228

花見の仇討Ⅱ八笑人・花見の趣向・桜の宮 229

囃子長屋 230

反魂香Ⅱ高尾・高尾名香 231

〈ひ〉

一人酒盛 232

難鍔 233

姫かたり 234

干物箱Ⅱ大原女・吹替息子 235

百年目 236

〈ふ〉

富士詣りⅡ五合目 237

無精床Ⅱけんつく床 238

無精の代参Ⅱ無精者 239

ふだんの袴 240

不動坊Ⅱ不動坊火焰 241

船徳 242

船弁慶 243

文違い 244

風呂敷Ⅱ風呂敷の間男 245

文七元結 246

〈へ〉

竈幽霊 247

〈ほ〉

坊主の遊びⅡ剃刀・坊主茶屋 248

棒だら 249

庖丁Ⅱ庖丁間男・えびつちやま 250

星野屋Ⅱ入れ髪・三両残し 251

牡丹燈籠 252

堀の内Ⅱあわて者……………253
本膳……………254

〈ま〉

松田加賀Ⅱ頼智の藤兵衛……………255
松山鏡Ⅱ鏡のない村・羽生村の鏡……………256
万金丹Ⅱ戒名万金丹・鳥屋坊主……………257
饅頭こわいⅡ饅頭嫌い……………258

〈み〉

木乃伊取り……………259
水屋の富……………260
味噌蔵……………261
三井の大黒Ⅱ甚五郎……………262
宮戸川……………263

〈め〉

妾馬Ⅱ八五郎出世……………264
目黒のさんま……………265

〈も〉

もう半分Ⅱ五勺酒……………266
元犬Ⅱ戌の歳……………267

百川……………268

紋三郎稻荷……………269

〈や〉

やかんⅡやかん根問・無学者……………270
厄払い……………271

弥次郎Ⅱ嘘つき弥次郎・日高川……………272

宿屋の仇討Ⅱ宿屋敵・甲子待ち・庚申待ち……………273

宿屋の富Ⅱ高津の富……………274

柳の馬場……………275

藪入りⅡお釜様・懸賞鼠……………276

山崎屋……………277

やんま久次Ⅱ大べらぼう……………278

〈ゆ〉

夢金……………279

夢の酒……………280

湯屋番 Ⅱ 桜風呂・帝国浴場 281

〈よ〉

よかちよろ 282

四段目 Ⅱ 蔵丁稚 283

淀五郎 Ⅱ 中村秀鶴 284

寄合酒 Ⅱ ん廻し・田楽食い 285

〈ら〉

らくだ Ⅱ らくだの葬礼そうれん 286

〈り〉

悋氣の独楽 Ⅱ 喜撰・喜撰小僧・辻占独楽 287

〈ろ〉

ろくろ首 288

〈わ〉

藁人形 Ⅱ 丑の刻詣り 289

あとがき 290

落語の演目 (索引) 302

落語手帖

矢野誠一